



『まえだとし女 全句』

白河までおもひおもひの鯉幟
永き日や荷をのせ帰る佐倉行
貸網戸とはおもしろき時節かな

まえだとし女

若葉雨園より焼菓子のにほひ
こでまりの花咲くソース工場あり
葉桜や防災の庫かくれなし
降り立ちてたきびに煽らるる極暑
六月をたのしくアウトレットのパン
百花園よぎる蜥蜴の影のあり
子蜥蜴はフリソデヤナギに向ひけり
母が言ふパフスリーブや夏始
百日紅枝の扱ひ聞いてをり
海の日や幕のごとくにいか干して
真昼間の小さき守宮や真間を行く

『まえだとし女 全句』

